

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

経営理念

「サービス先端企業」として、顧客満足主義の実践、取引先との相互利益の尊重、創造的革新の社風創りを共通の価値観として競争に打ち勝つ。

連結事業利益
1,000億円

ROE
10%超

2 中長期の経営戦略

1. ペイメント事業の構造改革

ノンアセット強化と資本効率の向上、DXによる組織・オペレーション効率化、UIUXの改善でメインカード化を目指す。

3. グローバル事業のスケールアップ

インド・東南アジア・ラテンアメリカでレンディング及び投資事業を展開。ダイレクトレンディング強化とリスクコントロール重視。

2. ファイナンス事業の安定的成長

リース事業の推進、信用保証事業での地域金融機関提携拡大、住宅ローン事業の拡大を継続。

4. 与信管理・回収体制強化

DXによるオペレーション効率化、適正与信の実施、AIによる不正検知精度向上で安心安全な決済環境提供。

3 対処すべき課題

① 競争激化する経営環境への対応

- ・物価上昇の個人消費への影響に留意
- ・金融資本市場の変動に対応
- ・先進的テクノロジーと異業種参入への競争力強化

② グローバル事業での持続的成長

- ・インドでのダイレクトレンディング強化と債権残高拡大
- ・ベトナムの債権良質化
- ・ブラジル・メキシコでの基盤構築と投融資実績拡大

③ セゾン・パートナー経済圏の確立

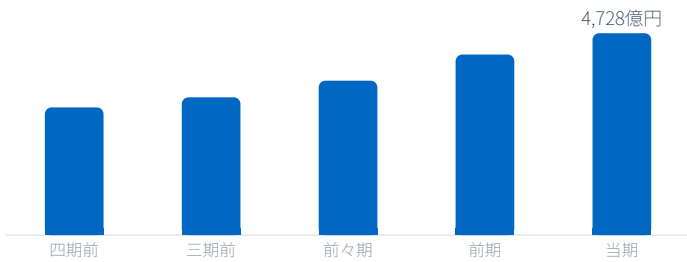
- ・グループ企業間の事業シナジー創造
- ・提携パートナーとの革新的サービス開発
- ・顧客満足度向上による感動体験の追求

面接で使えるポイント

- ・「サービス先端企業」を経営理念に掲げ、2027年3月期に連結事業利益1,000億円を目指す成長戦略。
- ・GLOBAL NEO FINANCE COMPANY実現に向け…
- ・2021年8月のサステナビリティ推進委員会設置以降、TCFD提言賛同やSDGs推進で社会課題解決に貢献。

証券コード 8253

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



暗記する数字3つ

連結売上高
4,728億円営業利益率
－（未開示）財務健康度
26点 / 100点要するに
株式会社クレディセゾン 事業概要
...

主力事業・セグメント

- ・決済 50.3%
- ・Finance 15.5%
- ・不動産Related 13.0%

強み・特徴（公開データから）

- ・連結売上高4,728億円の事業規模
- ・東証プライム市場上場

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

将来性 曇り / 就活偏差値 50.5（当サイト算出の参考指標）

平均年収
667万円

その他金融業内 22位/38社

平均年齢
44.4歳

その他金融業内 7位/38社

平均勤続
15.4年

その他金融業内 7位/38社

女性管理職
26.1%

その他金融業内 9位/27社

男性育休
88.9%

その他金融業内 11位/22社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は...）

直近ニュース一言

参考: クレディセゾンとVisa、Adoの世界観を反映したオリジナル

